

いいかえれば、お子さん自身は将来は読めませんので、お父さん・お母さんが20年後の社会がどうなるかを読んで、お子さんの「将来を考えて」進路を奨めなければならないのです。それがいかに、大変なことなのか！

親の希望？

子どもには「夢」がないし、自分も「将来は読めない」ならば、「親の希望で子どもの進路を決める」はいかがですか？

ご夫婦が退職後にアメリカに住みたいならば、「アメリカの大学を勧める」「補習校での日本語の勉強もやめさせる」ことです。いえ、冗談ではありません。

「経済的にサポートできないから、コミュニティ・カレッジに進んで、4年制大学にトランスファーする」「お父さんの実家の家業を継いでもらう」という理由は、「親の希望」になりませんか？

親の出来る事

1、子どもとのコミュニケーション

日本にいれば、子どもは周りから進路決定に必要な多くの情報を入手できます。しかし、アメリカで生活しているお子さんにとって日本の大学や日本の社会の実情の情報入手先は、保護者が第一です。

日頃から、お子さんを相手に日本（アメリカの含めて）の話しをすることが、お子さん自身が自分の将来を考え、自分の夢を持つのに大いに役立ちます。

2、情報収集

高校生のお子さんが日本かアメリカの大学への進学を考えています。アメリカの大学進学については、ほとんどのご両親はその経験がありません。進学のための勉強も出願も、子どもに頑張ってもらうしかありません。一方、日本の大学への進学は帰国子女大学入試を受験します。この特別入試は日本の国内生向けの入試と全く異なり、再び、ご両親の？年前の受験経験など役に立ちません。

この大学進学の例でもお分かりいただけるように、「保護者の立場で、情報収集に努める」ことです。「情報なくて、決断なし」という、お仕事で当然の基本ルールは、お子さんの進路決定についても重要になります。

☆

親として、子どもの進路の方向づけをしたり、真剣なアドバイスを求められることがあります。そんな時、どんなことを考えて判断・決断すればいいのか、迷い、悩みます。

私自身も経験した迷い・悩みにどう立ち向かうか、一つの考え方を書いてみました。いかがでしょうか？



第31回

愛知の帰国子女受入校 教育フェア

東海・中部地区へご帰国予定の皆様、
お待ちしております！
東海・中部地区の公立・私立の中学・高校の
帰国子女受入校の情報をお届けします。

2010年11月11日～17日

デトロイト・レキシントン
シンシナティ / 北部ケンタッキー
バトルクリーク・トリド

参加校

海陽中等教育学校

名古屋インターナショナル・スクール

「教育講演会」では、愛知・東海地区の帰国子女受け入れ校の現状とその教育内容を、お知らせいたします。

そして、海外子女の小・中・高の教育、さらには日米の大学進学についての情報もお届けします。

「ディスカッション」では、愛知からの参加校2校の先生から、愛知・東海地区の教育現場を、直接伺います。

「学校説明会」では、参加2校のより詳しい入試や編入の情報を、じっくりお聞きいただけます。また、資料で参加した学校の情報もお伝えします。

「個別相談」では、お子さんに必要な、受入校の詳細な入試・編入情報を先生から直接お聞きください。また、TV Japanでお馴染みの松本先生から、現地校での学習、英語と日本語の習得、帰国準備・入試など海外帰国子女教育全般について、アドバイスを聞くことも出来ます。

開催会場・予定の詳細は、

www.infoe.com
をご覧ください。

